



**第55期（2018年12月期）
第2四半期決算説明会資料**

2018年8月16日

共同ピーアール株式会社

©KYODO PUBLIC RELATIONS CO.,LTD.

本資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

2018年12月期第2四半期 業績の概要

連結業績

単位：百万円 端数切捨	2017年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	1,934	2,553	+619	+32.0%
売上原価	717	1,206	+489	+68.2%
売上総利益	1,216	1,346	+129	+10.7%
販管費	1,137	1,119	-17	-1.5%
営業利益	79	226	+147	+184.6%
経常利益	76	224	+148	+193.5%
当期純利益	60	184	+123	+203.2%

リテイナー

6ヶ月以上の契約で企業等の広報活動支援やコンサルティングサービス

(ex. P R戦略の策定、ニュースリリース作成支援、マスコミ各社の担当記者リストの整備、危機管理広報対応支援等)

オプションル& スポット

上記リテイナー契約顧客に対する一時的な付加サービス、6ヶ月に満たないリテイナー同様のサービス

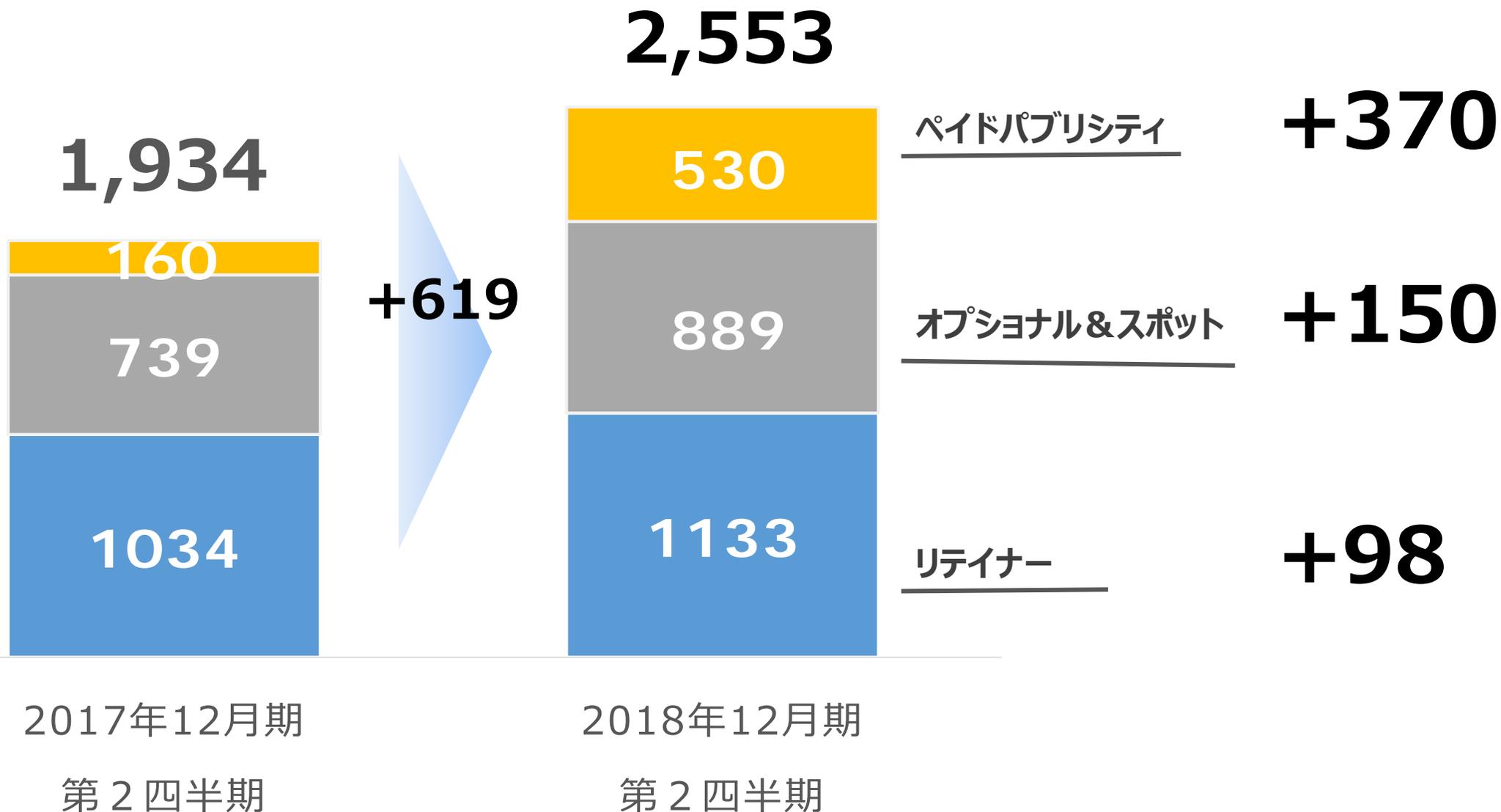
(ex.記者発表会、P Rイベント、プレスセミナー、危機管理広報マニュアルの作成等)

ペイド パブリシティ

顧客のニーズやP R素材の性質によって、新聞や雑誌等の特定ページを購入し、顧客の意図する内容を記事形式で掲載するサービス

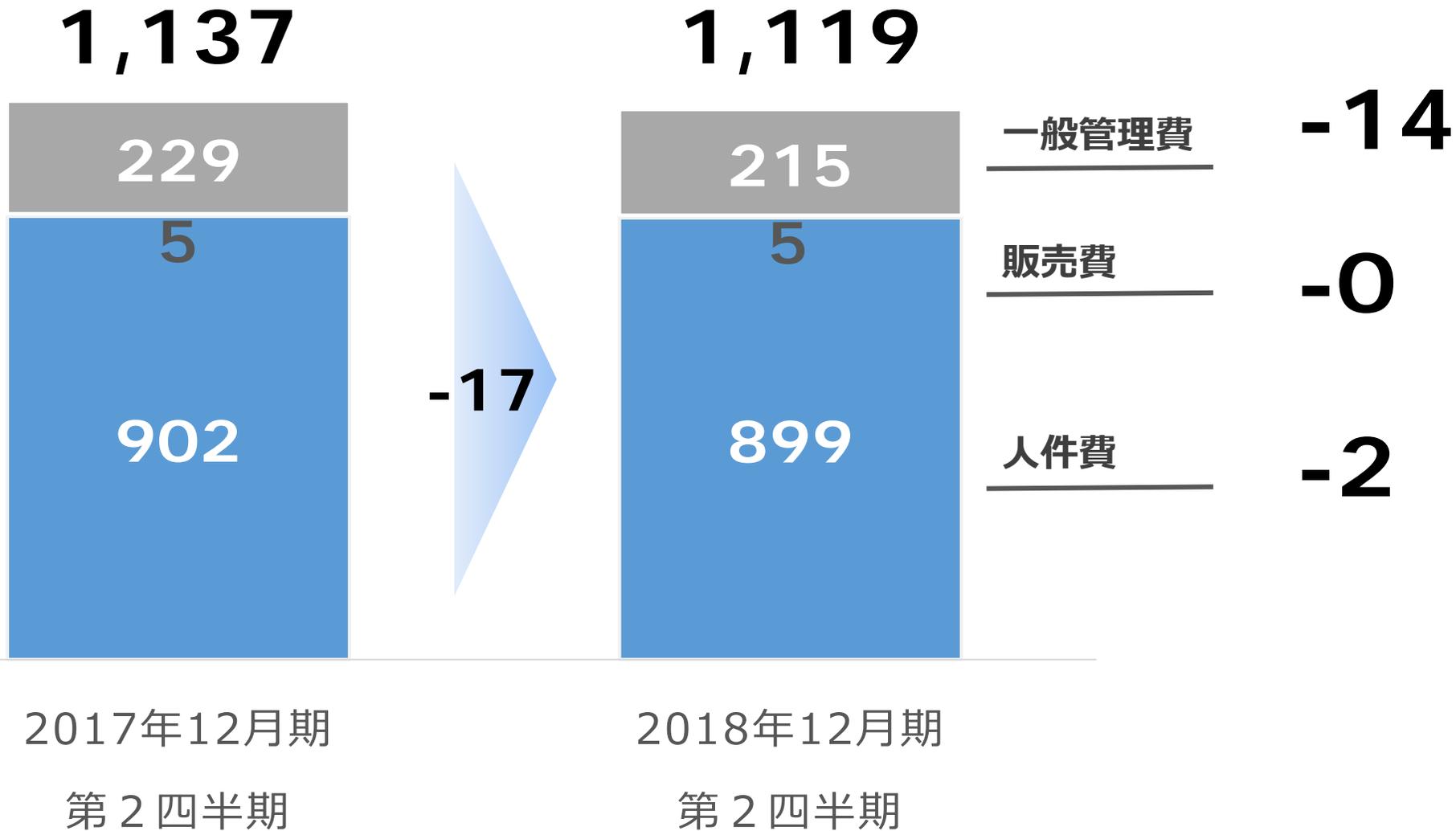
売上高【連結】

単位：百万円 端数切捨



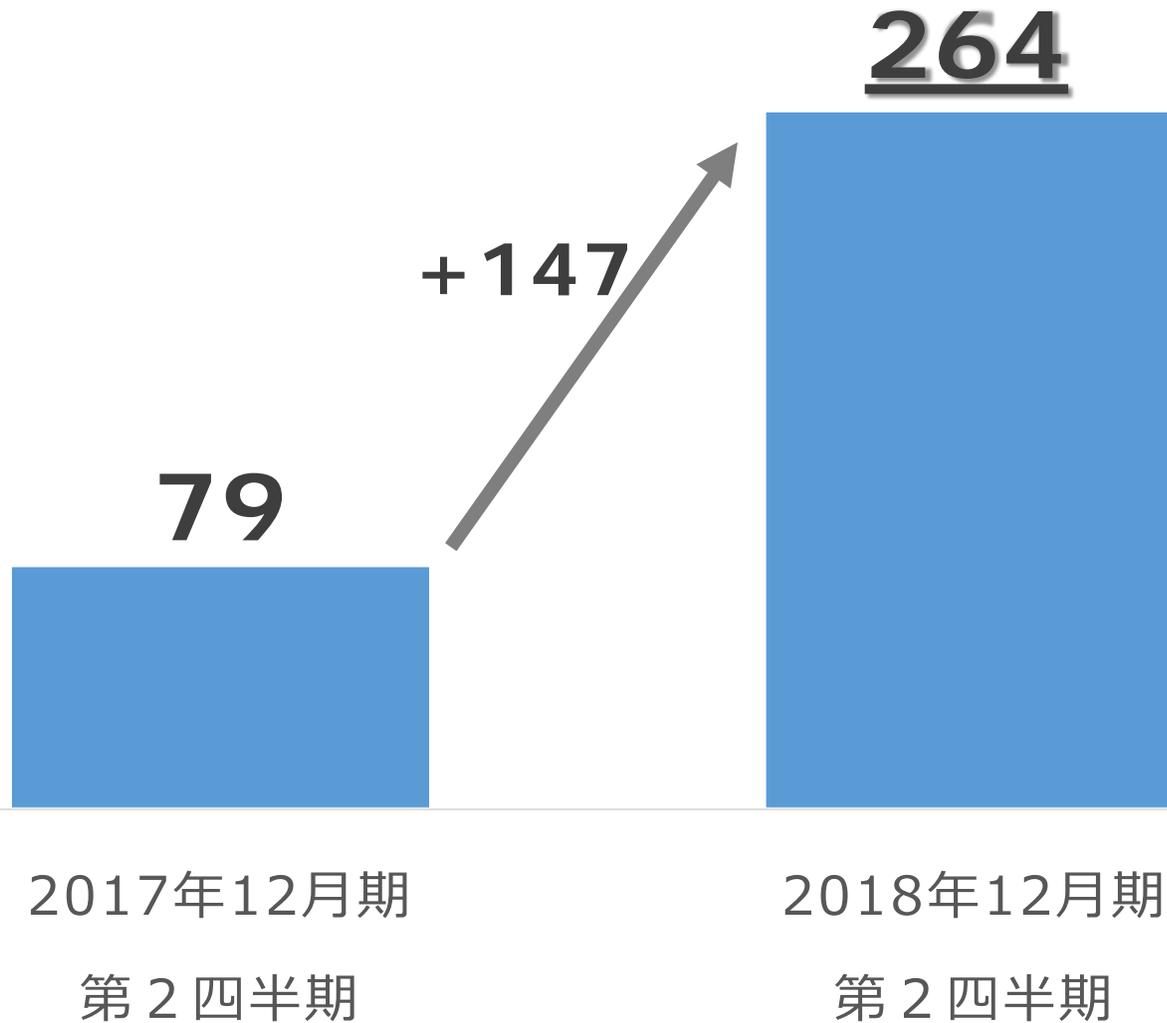
販売費及び一般管理費【連結】

単位：百万円 端数切捨



営業利益【連結】

単位：百万円 端数切捨



前年対比

184.6% UP!

- ◆ 売上高増加に伴う利益の増加
- ◆ 前年同期と比べ、貸倒引当金が発生せず販売費及び一般管理費が減少

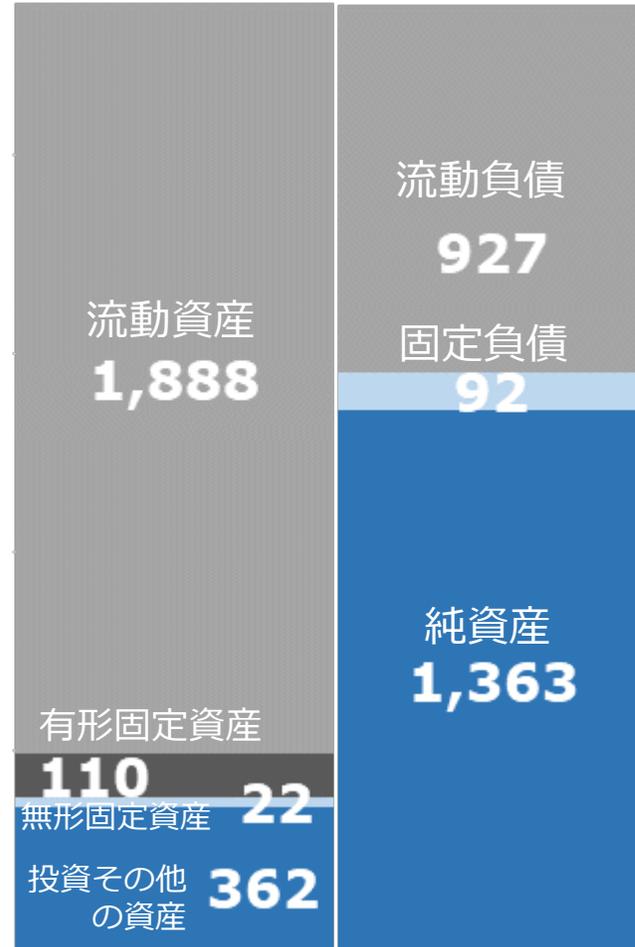
財務状況【連結】

単位：百万円 端数切捨

2017年12月期



2018年12月期 第2四半期



	増減額	増減率
流動資産	+140	+8.0%
有形固定資産	+11	+11.9%
無形固定資産	-0	-1.3%
投資その他の資産	+117	+48.3%
流動負債	-69	-6.9%
固定負債	-16	-15.3%
純資産	+355	+35.3%

自己資本比率 **47.5%**

自己資本比率 **56.9%**

9.4points UP!

キャッシュフロー【連結】

単位：百万円 端数切捨	2017年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期 内訳
営業キャッシュフロー	-5	248	税金等調整前当期純利益：224百万円 売上債権の減少：151百万円 たな卸資産の増加：79百万円 仕入債務の減少：134百万円
投資キャッシュフロー	-6	-114	投資有価証券の取得による支出：110百万円
財務キャッシュフロー	-61	89	株式の発行による収入：169百万円
現金及び現金同等物	470	814	

リテイナー

- 新規リテイナー契約顧客獲得
→ **リテイナー契約件数の拡大**
- 外資系クライアントの獲得
→ **1クライアント当たりの平均金額が前年よりUP 高収益化**

オプション&スポット

- 販売促進案件の伸張
- 広告代理店案件の増加

ペイドパブリシティ

- 計画よりも雑誌広告、屋外広告を受注
- 今後の受注は不透明

1. リテイナーPR事業

- 契約件数の増加、契約単価の拡大
- クライアントとの継続性
→クライアントヒヤリングを通じ、継続性を重視
- プランニング力を含め、社員のコンサルティング力を向上

2. マーケティング P R 事業

- 顧客のマーケティング課題を統合的な P R 手法を通じて解決し、長期的なブランディング形成に貢献
- 引き続き、広告代理店との連携強化

3. デジタル・コミュニケーション事業

- ▶ KPRデジタルの推進
→横断型チームの結成
- ▶ 専門部署の人員強化
- ▶ ローカルインフルエンサーやV A Z社関係の強化、
商品開発継続中

4. セミナー事業・コンテンツ事業

- ▶ 「広報の学校」などスクール・トレーニング事業の強化
→ **デジタルライブ配信の開始**
- ▶ 企業のPRを支援するコンテンツの発掘
→ パリンアート
→ スポーツコンテンツ

5. その他のトピックス

- ▶ 中華圏事業の強化
 - JCAAA
 - 台湾支店の開設
 - Lakala社の一次代理店契約

2018年12月期 経営計画

第55期（2018年12月期）経営計画【連結】

単位：百万円 端数切捨	2017年度 実績	2018年度 予想	増減額	増減率
売上高	4,379	4,500	+120	+2.8%
売上原価	1,821	1,837	+15	+0.8%
売上総利益	2,557	2,662	+105	+4.1%
販管費	2,293	2,362	+69	+3.0%
営業利益	264	300	+35	+13.4%
経常利益	258	295	+36	+14.3%
当期純利益	221	248	+27	+12.4%

第55期（2018年12月期）経営計画【単体】

単位：百万円 端数切捨	2017年度 実績	2018年度 予想	増減額	増減率
売上高	3,883	4,000	+116	+3.0%
売上原価	1,700	1,734	+33	+2.0%
売上総利益	2,182	2,265	+83	+3.8%
販管費	1,990	2,040	+50	+2.5%
営業利益	192	225	+32	+17.1%
経常利益	186	220	+34	+18.5%
当期純利益	170	196	+26	+15.4%